

授業科目	卒業制作	講義	実技	演習	単位時間384 単位24	前期	後期
教科担当	海老修臣、赤井泰宏、都築美耶、白川稔梨、黒野 和美、榊原 緑、Michiyo、野村成幸、日笠 保						
授業クラス(専攻)学年	研究科	担任	海老修臣				
授業の概要	グラフィック、イラスト、漫画、造形の各専攻分野における1年間の研究の総まとめとして、年間目標を達成できる課題としてふさわしい作品を制作する。						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	1. 卒業課題：コンセプト、テーマ 2. 卒業課題：コンセプト、テーマの設定シート作成 3. 卒業課題：アイデアスケッチ制作 4. 卒業課題：アイデアスケッチ制作 5. 卒業課題：アイデアスケッチの作成、アイデアスケッチ、コンセプトシートの提出 6. 卒業課題：作品制作-1 アイデア、コンセプトチェック、下描き、下準備 7. 卒業課題：作品制作-2 下描き、下準備続き 8. 卒業課題：作品制作-3 作品本制作 9. 卒業課題：作品制作-4 作品本制作 10. 卒業課題：作品制作-5 作品本制作 11. 卒業課題：作品制作-6 作品本制作 12. 卒業課題：作品制作-7 中間チェック 13. 卒業課題：作品制作-8 作品本制作 14. 卒業課題：作品制作-9 作品本制作 15. 卒業課題：作品制作-10 作品本制作 16. 卒業課題：作品制作-11 最終講評会						
使用テキスト 教材等	特になし						
成績評価方法 及び基準	作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、適切なレイアウト・配色がなされている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品課題が複数の場合は、作品評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。 科目の最終評価点は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は欠課1回に対して1点減点とする。 採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。						
履修にあたっての 留意点	最後の集大成として積極的に授業に取り組む。先生からのアドバイスも積極的に受け、またクラスメイトと課題内容について、アイデアの出し合いや意見交換なども積極的に行い、自身の作品のブラッシュアップ、コミュニケーション力の向上にも努めていく。						

授業科目	DTP演習Ⅲ	講義	実技	演習	単位時間32-単位2 単位時間64-単位4 単位時間96-単位6	前期	後期
教科担当	磯村	実務経験		グラフィックデザイナー			
授業クラス(コース) 学年	研究科	担任		海老			
授業の概要	媒体・目的・コンセプトを明確に、出力を前提とした実践的なレイアウトの作品制作を予定しています						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. イベントポスター制作：テーマ選択・ラフスケッチ 2. イベントポスター制作：ラフスケッチ・素材収集 3. イベントポスター制作：写真編集・イラスト制作 4. イベントポスター制作：レイアウト 5. イベントポスター制作：レイアウト・修正 6. イベントポスター制作：修正・完成 7. メニュー表デザイン制作：ラフスケッチ 8. メニュー表デザイン制作：写真編集 9. メニュー表デザイン制作：レイアウト 10. メニュー表デザイン制作：レイアウト・修正 11. メニュー表デザイン制作：修正・完成 12. 制作物のデータ整理及びポートフォリオへの展開 13. デザインコンペ作品制作：コンペ選び 14. デザインコンペ作品制作：ラフスケッチ・制作 15. デザインコンペ作品制作：制作・修正 16. デザインコンペ作品制作：修正・完成 17. 制作物データ整理・修正 						
使用テキスト 教材等	テキストは特になし ラフスケッチ用のノートやスケッチブックを持参すること						
成績評価方法 及び基準	作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、デザイン的な構成・配色や表現ができている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品が複数の場合は、評価点（各100点満点）の総合計を課題数で割った平均とする。複数の担当教員によって行われる科目の場合は、複数担当者の中から責任者を定め評価する。各科目の成績は、作品評価に0.8を乗じたものに平常点【20点】を加算して算出する。平常点は、授業の欠課1回に対して1点減点とする。採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D（不合格）とする。						
履修にあたっての 留意点	課題によって写真やイラストを自身で用意する						

授業科目	ポートフォリオ演習Ⅱ	講義	実技	演習	単位時間32—単位2 単位時間64—単位4 単位時間96—単位6	前期	後期
教科担当	古田 雅仁	実務経験		グラフィックデザイナー			
授業クラス(専攻)学年	研究科	担任		海老			
授業の概要	<p>就職活動や作家活動に使用するポートフォリオを制作する。 ポートフォリオ演習Ⅰで制作したポートフォリオをベースに、各自の志望する進路に合わせて適切な指導を行う。 掲載する作品を増やすためコンペ用の作品制作も行う。</p>						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ポートフォリオについて 制作したポートフォリオを確認。進路に合わせて目標を設定・制作する。 2. ポートフォリオ制作 ポートフォリオを引き続き制作。適宜アドバイスを行う。 3. 各自の進路に合わせたポートフォリオ用の作品を制作。ラフ案を作成する 4. 【課題1】ポートフォリオ用作品制作 ポートフォリオ用の作品を制作する。 5. 【課題1】ポートフォリオ用作品制作 ポートフォリオ用の作品を完成・提出する。 6. ポートフォリオ制作 ポートフォリオを引き続き制作。適宜アドバイスを行う。 7. ポートフォリオ進捗確認 最初に設定した目標の進捗を確認し、場合によっては目標を再設定する。 8. 【課題2】コンペ用作品制作 コンペに応募する作品を制作。ラフ案を完成させる。 9. 【課題2】コンペ用作品制作 引き続きコンペに応募する作品を制作する。 10. 【課題2】コンペ用作品制作 引き続きコンペに応募する作品を制作する。 11. 【課題2】コンペ用作品制作 引き続きコンペに応募する作品を制作する。 12. 【課題2】コンペ用作品制作 コンペに応募する作品を完成・提出する。 13. ポートフォリオ制作 ポートフォリオを引き続き制作。適宜アドバイスを行う。 14. ポートフォリオ制作 ポートフォリオを引き続き制作。適宜アドバイスを行う。 15. ポートフォリオ制作 ポートフォリオを引き続き制作。適宜アドバイスを行う。 16. ポートフォリオ制作 ポートフォリオを引き続き制作。適宜アドバイスを行う。 17. 						
使用テキスト 教材等	前期の授業で制作したポートフォリオ						
成績評価方法 及び基準	<p>作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、デザイン的な構成・配色や表現ができている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品が複数の場合は、評価点(各100点満点)の総計を課題数で割った平均とする。複数の担当教員によって行われる科目の場合は、複数担当者の中から責任者を定め評価する。各科目の成績は、作品評価に0.8を乗じたものに平常点【20点】を加算して算出する。平常点は、授業の欠課1回に対して1点減点とする。採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。</p>						
履修にあたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の作品データとポートフォリオ演習Ⅰで作成したポートフォリオのデータを持参すること。 ・コンペの詳細は授業時に配布する 						

授業科目	Web演習Ⅱ	講義	実技	演習	単位時間32-単位2 単位時間64-単位4 単位時間96-単位6	前期	後期
教科担当	掛布裕太	実務経験		Webデザイナー			
授業クラス(専攻)学年	研究科	担任		海老			
授業の概要	HTML, CSSのの応用を学び、課題に従いホームページを制作する。 スマートフォン対応、レスポンスWebデザイン等、 Photoshop、Dreamweaverでより高度な制作に挑戦する。 GIFアニメーション、Javascriptを用いた動的表現を学ぶ。						
学修内容 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> HTML5：HTMLの復習と応用編。最新の規格によるコーディング練習。 CSS3：CSSの復習と応用編。CSS3を使ったデザイン・レイアウト技術について。 ワイヤーフレーム：サイトの設計とワイヤーフレームを学ぶ。 HPデザイン課題：課題テーマに従ったPCサイトデザインの制作。 HPデザイン課題：課題テーマに従ったスマホサイトデザインの制作。 HPデザイン課題：Photoshopスライスツールとアセット画像書き出し。 HPデザイン課題：HTML, CSSによるサイトコーディング。 レスポンスサイト：サイトのトレンドを意識したデザイン。 レスポンスサイト：サイトのトレンドを意識したコーディング。 GIFアニメーション：ビデオタイムラインと動画編集基礎。 GIFアニメーション：ビデオタイムラインによるアニメーション制作。 Javascript：JSライブラリの解説と実践。 Javascript：JSライブラリを用いた画像の拡大、スライド等。 Webポートフォリオ：過去作品のまとめとデザイン構想。 Webポートフォリオ：トップページワイヤーフレーム設計。 Web演習のまとめと復習、就職活動に向けたWeb技術の活かし方。 						
使用テキスト 教材等	・配布プリント、配布データ						
成績評価方法 及び基準	<p>作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、デザイン的な構成・配色や表現ができていない【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品が複数の場合は、作品評価点(各100点満点)の総計を課題数で割った平均とする。複数の担当教員によって行われる科目の場合は、複数担当者の中から責任者を定め評価する。各科目の成績は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は授業の欠課1回に対して1点減点とする。採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。</p>						
履修にあたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> 授業に遅れず出席し、メモを取る。 プログラムを正確に書き、スペルミス減らす。 						